

## 丸中鍛 鍛造部品を17%増強

### 「東端」に新工場棟

来年4月稼働 HVニーズ拡大対応

自動車部品メーカーの丸中鍛工（本社安城市桜町12の24、磯貝廣治社長、電話0566・75・3365）は、主力拠点の東端工場（安城市）敷地内に熱間鍛造プレスの新工場棟を建設する。来年4月に稼働させて、ハイブリッド車（HV）向け部品を主体に手がける。全体の鍛造部品の生産能力を17%増の月70万個に引き上げる。

（安城・勝又佑記）



主力拠点の東端工場

### 相見駅前にもマンション

アイシン 複合商業施設と隣接

既存設備の老朽化に備え、H Vのエンジンとモーターの普及拡大に対応する狙い。

新工場棟には、同社最大の鍛造荷重になる3千トンの鍛造プレス設備を主に生産する。建屋は平屋建てで、延べ床面積は約5500平方メートルを見込む。

### 「亜麻色の髪の乙女」にうっとり

医療法人鉄友会宇野病院（宇野甲矢人理事長）のさくらホールでこのほど、岡崎市音楽家協会が25周年記念事業「まちかどコンサート」を開催した。訪れた地域住民や患者ら100人は、華麗な演奏に酔いしれた。

岡崎市音楽家協会は1989年、音楽文化の向上と発展を目的に設立され、市内と近

### 周年の岡崎市音楽家協会 宇野病院でコンサート



「七つの子」といった童謡から、グループサウンズ時代のヒット曲「亜麻色の髪の乙女」まで、1部では9曲を披露。演奏会に訪れた主婦は「聞き慣れた曲もプロが歌う

○：「目標は、音楽文化の地産地消。岐阜でエンターテイナーを育てたい」と語るのは、nantell.jp、ミュージックスクール校長の野々田万昭さん。7月14日、プロデュースした音楽スクールが岐阜市に開校した。幼稚園児から高齢者まで幅広い年代を対象としており、コース内容も充実している。



「ジャズの楽し」  
音楽文化にも地産地消を  
さ、魅力を伝えたい」と意気込みをみせる。  
○：また、地元の小中学校での演奏会や、音楽監督を務める市民ジャズビッグバンド「楽市JAZZ楽団」など、地域に根ざした音楽活動にも尽力している。  
「今は、岐阜から全国、世界へと音楽を発信できる時代。音楽を通じて、出身地である岐阜の町おこしに貢献できれば」と話す。  
（岐阜）

### ロビー

方。鍛造プレスのほか、トリーミングプレス、鍛造焼き入れ槽を導入する。総投資額は6億7千600万、2500トンの分散にもつなげる。

を支援する宇野病院で開催することにした。

当日はチェロ、フルート、ピアノ、ソプラノ（音楽）の6人の音楽家が「心に響く日本の歌」、「ヨーロッパの風に乗せて」をテーマ2部構成で演奏した。